



日本からの初来訪!!友人が、任地スバイリエンに!

8月中旬、新潟県で教員(現在、教職大学院に在籍)をしている友人・増田有貴さんが、スタディツアーでカンボジアへ、そして、任地スバイリエンにも足を運んでくれました。首都プノンペンや世界遺産・アンコールワットを訪れる日本人はたくさんいますが、観光地ではないこのまちに、わざわざ足を運んでくれなんて...この上ない喜びでした!!!せっかくの来訪、観光地にはない「カンボジアのローカルな暮らし」をたっぷり堪能して頂きました。

増田さんの滞在記を増田さんのお気に入りの写真と生の声でお届けします。

1日目 (PM)

大家さん家族との ウェルカムパーティー



2日目 (AM)

片道 40 分のサイクリングをしながら、田園風景が美しいバッサク村へ。 村の子どもたちと「パブリカ」ダンスで交流。



次の日、増田さんは、筋肉痛に👉



【解説】高木さんのホームステイ先のカフェで働くナナさんは、休日に村の子どもたち(2~11歳)にダンスや英会話を教えています。ちょうど滞在日にダンスがあり、日本の子どもたちに人気の「パブリカダンス」を教える機会を頂きました。私の英語での説明をナナさんにクメール語で通訳してもらいながら、練習すること30分。サビの「パッ」と花が咲くところでは、どの子も思い思いに“flower”を表現し、とっても可愛く踊ってくれました!ダンスや歌を通じて、子どもたちに日本の文化を楽しんでもらうことができました。村の子どもたちのために、忙しい中でも献身的に教育活動を続けるナナさんの責任感に感銘を受け、帰国後すぐに英語の絵本と教材を送りました。子どもたちが楽しんで英語学習ができるきっかけになるといいな、と思っています。

2日目 (PM)

国境沿いのまち ババットにて夕食

市内散策

大家さんの親戚の家など、あちこち連れ回しました👉

3日目 (AM)

「もう一人日本人が来た!」と増田さんに興味津々!

スバイリエン高校にて、朝食、敷地内散策、 体育の授業「ポッカタオ」(中学1年)の見学&生徒たちとの交流



【解説】念願の他国の学校訪問&協力隊員の活動見学。見学した授業はカンボジアの伝統武道「ポッカタオ」。前半、全体で基本の構えと技の型を練習する中、高木さんは生徒一人一人に丁寧に指導や助言をして回ります。後半は、実践練習。生徒と先生で模範を見せた後、ペアで前半に学習した技を出し合ったのですが、これが大盛り上がり!みんな夢中になってやっていました。中には、高木さんに挑み続ける女子生徒も。明解な指示と抜群の授業テンポ、スモールステップの授業構成が、生徒の意欲を引き出し持続させていたように思います。彼らの活き活きと楽しそうな表情を見て、私も参加したいくらいでした。高木さんと生徒たちのやりとりを見ると、生徒たちは高木さんのことが大好きで、彼らから信頼を得ているからこそ、あのような雰囲気での授業になるのだと思いました。後日、カンボジア人の友人に授業の写真を見せたところ、「カンボジア人でも難しいポッカタオを日本人が教えたの?」と驚いていました。学校の設備や教育内容、使用言語等あらゆる環境が日本と異なるカンボジアで、子どもたちの目の輝きを引き出す高木さんはやはり教育のプロだと思うと同時に、高木さんの指導方法は間違いなく他の先生方の学びになっていると思いました。もちろんその裏には計り知れない苦労があると思いますが、高木さんの現地の人たちとの関わりを大切にし、真摯に活動に向かう姿に、私自身が大きな刺激を受けました。

スバイリエンを訪れて(感想)

「観光旅行ではできない経験がしたい」と計画した今回のカンボジア渡航。

家庭料理や屋台料理の堪能、学校見学、地域の集会への参加、まちの散策、地域の人々や子どもたちとの交流等、スバイリエンで多くのローカルな体験ができ、とても充実した3日間となりました。滞在中に出会った方々は皆さんとても優しくなりましたが、特に高木さんのホームステイ先の大家さんご家族からは本当の家族のように良くしていただいて、別れが惜しかったほど。「また訪れたい」と思うくらい、活気があって温かな街でした。

今回の旅でお世話になった皆様に心から感謝です。本当にありがとうございました!

とてもとても身に余るお言葉も頂きながら、2泊3日の旅の行程をレポートしていただきました。増田さん、ありがとうございました!!是非、皆さん、田舎ならではの「ぬくもり」が感じられるカンボジア・スバイリエンに遊びに来てください!